

# 令和6年度卒業式・修了式を 挙行しました。

令和7年3月7日（金）に令和6年度卒業式・修了式を挙行し、学部生84名、大学院生20名が旅立ちの日を迎えました。様々な課題や研究、実習を乗り越え、この日を迎えられた卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます🌸



## ---保健医療学部卒業生・保健医療学研究科修了生より-----

- Q1. 本学の学生生活はどうでしたか？
- Q2. 国家試験対策をどのように進めましたか？
- Q3. 本学への進学を考えている方へのメッセージをお願いします！

### 看護学科

卒業生 柳瀬莉々香

- A1. 学生生活で良かったのは、4年間を通して複数の病院や施設で実習を行うことができるため、それぞれの実習施設ならではの特色に触れながら、多くの新しい視点や学びを得られたことです。また、学業も大切ですが、友人との食事や旅行、趣味に没頭するなど、自分なりのリフレッシュ方法を見つけることを心がけました。学業とプライベートのメリハリをつけることで、充実した4年間を過ごせたと感じています。
- A2. 3年生の後期からアプリを活用して、少しずつ勉強を始めました。本格的な国試対策は4年生になってからでしたが、過去問を解きながら、理解があいまいな部分はレビューブックで確認するようにしました。また、本番で見たことがない問題が出題されても焦らないように、新しい問題や模試を解きなおしすることで対策しました。友人と勉強する時間を多くとり、オリジナルの語呂合わせを作るなど、工夫して楽しく対策できたことが良かったです。
- A3. 入学前は実習や課題、一人暮らしなど、新しい環境に不安を感じることもあるかもしれませんが、しかし、本学には学びを支えてくれる先生方や、同じ目標に向かって共に成長できる仲間がたくさんいます。きっと「この大学を選んでよかった」と思えるはずです。皆さんが、それぞれの夢へと前進できることを心から応援しています。





- A1. 少人数制で、先生との距離が近く、授業で分からないことがあっても気軽に質問ができる環境が整っています。また、就職活動では先生方の手厚いサポートや、先輩方の過去の試験資料を活用することができたため、入学時から希望していた病院に就職することができました。学校生活では、学内実習が増えるとレポート提出が重なるため、提出期限をしっかりと管理することを心がけました。
- A2. 国家試験の過去15年分の問題を数回解き、繰り返し間違える問題をピックアップして、確実に解けるようになることを目標にしました。また、苦手な分野に関しては、自分なりに表や図にしてまとめました。12月中旬頃まで、模試でなかなか合格点に届いていなかったのですが、先生方が過去の模試を印刷してくださったり、覚えにくいところは友達と語呂を作成したりして、最終的には自信を持って試験に臨むことができました。
- A3. 学内実習はグループで取り組むことが多いため、友達作りが苦手でも自然に友達ができて、学校生活を楽しむことができますと思います。また、新入生歓迎会など先輩とも交流する機会があり、試験対策やレポートの作成方法など、役立つ情報を得る機会があるので、安心して進学してください！皆さんの努力が実を結び、大学生活が充実したものになることを心から願っています。

## 大学院 博士前期課程 看護学専攻 実践者養成コース（公衆衛生看護学）



修了生 向井知里

- A1. 大学院の授業では、プレゼンテーションやディスカッションが頻繁に行われます。そのため、事前に授業内容を理解し、自分なりの考えを持つことが重要だと感じました。このような準備は、授業や実習において、学びを深めるためにも重要であったと実感しています。
- A2. 本格的に対策を始めたのは冬ですが、就職活動中にも保健師国家試験の過去問に目を通していました。進め方としては、過去問を中心に問題を解くと同時に、参考書を使って出題される用語の意味や根拠となる法律を覚えられるよう努めました。
- A3. 保健師としての知識を深めるため、授業や実習、研究などで忙しくなるとは思いますが、その中で目標に向かって学び続けることは大きな成長に繋がります。先生方のサポートを受けながら、充実した学びを実感できるよう頑張ってください。応援しています。

## 大学院 博士前期課程 看護学専攻 実践者養成コース（助産学）



修了生 野村愛佳

- A1. 学生生活の中で心がけていたのは、同級生と協力しあうことです。課題や演習、実習、自己学習において、仲間との協力は欠かせませんでした。技術面や知識面ではもちろん、精神面でもお互いを支えあうことを心がけていたからこそ、私は2年間の大学院生活を乗り越えられたと思います。
- A2. 基本的には過去問を解いていました。解いていて分からないところや、理解が浅いところについては、参考書や教科書を確認して書き込んだり、自分なりに付箋にまとめたりすることで、理解を深めていきました。見直しや解きなおしを行い、1人で分からないところは、同級生に共有して一緒に考えるなどして、勉強を進めました。
- A3. 進学前は実習や研究に関して不安を抱えていましたが、先生方の丁寧なご指導と仲間の存在のおかげで乗り越えることができました。助産学コースと公衆衛生看護学コースが合同で行う実習もあり、様々な視点から母子と関わるすることができます。ぜひ本学で、助産師を目指してみませんか？



- Q1. 大学院進学理由は？
- Q2. 大学院進学を検討されている方へのメッセージをお願いします！
- Q3. 修士・博士論文のテーマ



## 大学院 博士前期課程 看護学専攻 研究コース

修了生 高尾理恵

- A1. 私は急性期病院で働いていた時に、患者さんの再入院率の高さに、看護師としてどのように関わることができるのか、疑問を感じながら働いていました。現在は現場を離れており、時間ができたら、看護の現場を経験した上で、もう一度学びを深めたいと思うようになりました。大学院に進学することで、看護師として働いていた時に感じていた疑問や課題について研究し、現場にどう返すことができるか検討したいと考え、進学を決めました。
- A2. 大学院に進学することで、より詳しく研究方法を学び直すことができ、自分が追求したい事象を先生方と一緒に検討することができます。看護の現場は日々業務の忙しさもあり、自分の看護観を見つめ直す時間を作ることは容易ではないと思いますが、大学院への進学は、改めて「看護とは何か」を考えるきっかけになると思います。また同期の院生と情報交換をすることで新たな視点が得られ、自分の成長に繋げることができると思います。
- A3. 「1年以上再入院していない慢性心不全患者の行動変容プロセス」

## 大学院 博士前期課程 臨床検査学専攻

修了生 西岡凌

- A1. 私が大学院進学を志した理由は、学部4年次に卒業研究で微生物学の研究に触れ、研究を通して得られる科学的思考や技能を研鑽することで、将来の選択の幅が広がると思ったからです。大学院では緑膿菌について研究しており、宿主細胞を用いた実験で菌による宿主への病原性について解析していました。
- A2. 本学の特色として、先生方に対する学生の数が少人数であることから、綿密なご指導をいただけます。大学院進学後も風通しの良さは変わらず、挑戦したいことがあれば快く助言をいただけますので、色々なことにチャレンジして成長したい人は、ぜひ大学院進学を将来の選択肢の一つに考えてみてはいかがでしょうか。
- A3. 「緑膿菌の上皮細胞に対する病原性発現機構の解析」

## 大学院 博士後期課程 看護学専攻

修了生 山本大祐

- A1. 私は中山間地域で活動することが多く、人間関係を大切にする中山間地域の訪問看護師の支援を可視化したいと考えていました。その上で、一人でも多くの方に中山間地域における訪問看護の魅力を知ってもらい、看護師を呼び込みたいと考えていました。そのために、地域への「思い」を理解してもらえ先生方が集っている本学大学院に進学し、研究を行うことにしました。
- A2. 私の「地域への思い」を尊重し、相互理解を軸としたご指導をいただける、先生方との研究の時間は、新たな「知」を探求する上で重要な時間であり、先生方と対話をするだけでも本学に進学した価値を感じることができました。この大学だったからこそ、研究に最後まで取り組むことができました。遠方からでも通う価値が、海と自然に囲まれた香川県立保健医療大学にはあります！
- A3. 「中山間地域における訪問看護師の別居家族介護者への看取り支援」

- A1. 私は大学病院で臨床検査技師として勤務する中で、臨床検査技師がより深い知識を持ち、臨床側が求める情報を適切に提供できれば、医療現場での重要性が一層高まると感じました。そこで、臨床検査学の高度な専門知識を習得するために大学院へ進学しました。大学院では、敗血症患者の血中に増加する「プレセプシン」の産生機序を解明する研究に取り組み、その臨床的意義の明確化に貢献できたと考えています。
- A2. 本学は、高度な実験機器を多数保有し、研究に集中できる環境が整っています。私は大学院での学びを通じて、高度な専門知識と科学的検証能力を身につけることができたと考えています。研究活動は決して容易ではありませんが、研究意欲があり、臨床検査学の発展に貢献したいと考える方は、ぜひ大学院進学をおすすめします。
- A3. 「Identification of organs of origin of macrophages that produce presepsin via neutrophil extracellular trap phagocytosis (好中球細胞外トラップ貪食を介したプレセプシン産生マクロファージの由来臓器の特定)」



卒業・修了 おめでとうございます ✨  
今後のご活躍をお祈りしています！

